

相馬野馬追 [南相馬市・相馬市・浪江町・大熊町・双葉町]

相馬野馬追は福島県の相馬地方で3日間にわたって行われ、国の重要無形民俗文化財に指定されている。相馬三社でそれぞれお繰り出しの儀式が行われた後、ご本陣『雲雀ヶ原祭場地』を目指し進軍する『お行列』、雲雀ヶ原祭場地で砂塵を巻き上げ疾走する『甲冑競馬』、上空に打ち上げられた旗を奪い合う『神旗争奪戦』、野馬追本来の姿を現在に残す『野馬懸』など見どころが目白押し祭典。

2011年7月

警戒区域の小高神社から区域外の多珂神社に変更して実施した野馬懸の様子



震災後の2011年は『甲冑競馬』や『神旗争奪戦』が中止、『野馬懸』も警戒区域の関係で場所を変えて行われるなど大幅に規模を縮小して開催された。

提供：相馬野馬追執行委員会

2024年5月

各地で行われた代表的行事の様子



14年ぶりに双葉町での騎馬武者行列が復活し、『お行列』、『甲冑競馬』、『神旗争奪戦』、『野馬懸』などの相馬地方の5市町で開催される関連行事が全て行われた。

提供：相馬野馬追執行委員会

Jヴィレッジ [楡葉町・広野町]

2015年3月

原発事故収束の前線拠点となったJヴィレッジ



Jヴィレッジは東京電力福島第一原発の事故収束と廃炉作業の前線拠点として使用された。

提供：福島民友新聞社

2018年7月

前線拠点から本来の機能を取り戻したJヴィレッジ



東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から7年4か月を経た7月28日、国内初のサッカー・ナショナルトレーニングセンターとして1997年に誕生したJヴィレッジが復活を果たした。

出典：復興庁「東日本大震災発災10年ポータルサイト」(<https://www.reconstruction.go.jp/10year/photo.html>)